

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
笠井課長補佐	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定刻となりましたので、ただいまから第2回佐渡市総合計画審議会を開会いたします。よろしくお願いいたします。 ・なお、審議会の会議時間につきましては、概ね1時間半程度を予定しておりますが、終了後、各部会の部会長や副部会長を選任するための部会を開催しますので、引き続きよろしくお願いいたします。 ・それでは、早速次第に沿って進めてまいります。開会にあたりまして、会長より一言ごあいさつ申し上げます。
審議会長	<ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市総合計画の策定については、昨年11月25日に第1回の審議会を開催したところですが、今年1月から2月にかけて市民意識調査として、「市民」や「事業所」また「子育て世代」や「高校生」を対象としたアンケート調査や、直接、市民の生の意見をいただきたく場として子育て世代や高校生を対象としたワークショップも開催しております。 ・これらのアンケート結果やワークショップの取りまとめについては、今後、基本計画を審議していただく際の参考としてご覧いただければと思います。 ・本日は第2回の審議会ということで、事務局から基本構想の素案、また施策の体系について示されておりますのでご審議のほどよろしくお願いいたします。 ・審議会終了後に各部会のグループに分かれてお話し合いをお願いしたいと考えています。
安藤政策推進係長	<p>2 議題</p> <p>(1) 佐渡市総合計画 基本構想（素案）について (2) 佐渡市総合計画 施策の体系（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題(1)、(2)は関連しますので、併せてご説明させていただきます。資料につきましては、No.1、2と参考資料の新発田市まちづくり総合計画をご用意ください。 ・まず基本構想についてご説明いたします。構想の素案ということで、事務局で叩き台を作成しました。 ・「1.計画の策定にあたって」ということで、「(1)計画策定の目的」を記載しております。前段から中段では、これまでの総合計画・最上位計画の経緯、取り巻く環境・市民意識の変化について書かれています。後段では、持続可能な社会の実現に向けて、地域の特徴を

活かした地方創生・地域活性化が一層重要になるということで、市民が佐渡の将来あるべき姿を思い描けるように、新たな「佐渡市総合計画」を策定することとしています。

- ・続いて、「(2) 計画の位置づけ」では、本計画を最上位計画と位置づけるとしています。市の各課には細かな計画があり、それを個別計画と呼びますが、個別計画の最上位として佐渡市総合計画を位置づけるということです。
- ・次に、「(3) 計画の期間と構成」です。総合計画は「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3部構成を予定しています。①の基本構想については、令和4年度から令和13年度までの10年間を見据え、基本理念・将来像・基本目標を定め、その実現に向けた考え方として施策の大綱を明らかにするものとしています。②の基本計画については、基本構想で定めた内容を体系的に示すことで、施策別の現状や課題、基本方針などを示すものとなっています。資料No.2をご覧ください。基本目標が5つあり、5つの分野について施策の体系案がありますが、この施策の体系をさらに細分化したものを基本計画として策定したいと思っています。期間については令和4年度から令和8年度までの5年間を前期、令和9年度から令和13年度までの5年間を後期として考えています。③の実施計画についてはPDCAを回していくということで、基本計画に掲げた施策の柱を効果的に実施するために、具体的な事業内容を紐付けていき、紐付けられた事業については3年間のローリング方式で随時見直しを図っていきます。
- ・「2. 基本理念と将来像」では、(1)に基本理念の案を記載しております。まだ完全に固まったフレーズではありません。これから若干修正が入る可能性がありますので、ご承知おきください。(2)の将来像には市民憲章を①から⑤に記載しております。
- ・「3. 基本目標」の各項目は、資料No.2「施策の体系(案)」の「基本目標」とリンクしており、各項目の内容についても資料No.2の「施策の体系案」の各事項が読み取れるような形で記載しています。新発田市まちづくり総合計画の基本目標、施策の体系を参考にして構成しているものです。参考資料の新発田市の計画をご覧くださいと、例えば、基本目標として「①生活・環境」があり、その中の施策として「1 防災」が位置づけられ、「防災」の施策について1ページ書かれています。我々としても同じイメージを持っており、施策ごとに現状・課題、また施策として大きな柱を3本ないし4本設けて書いていきたいと考えています。基本計画に関する内容ですが、施策の体系は基本構想で固めていく必要がありますので、それを含めてご検討いただきたいと思います。

<p>審議会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今ほどの説明でご質問・ご意見がございましたら挙手にてお願いいたします。
<p>A氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想の「4. 施策の大綱」から展開していくのだと思いますが、(4)産業振興・雇用の中で、脱炭素などのエネルギー問題についてどこに入ってくるのか、もう少し細かく展開していく中で入ってくるのでしょうか。 ・もう一点、(5)市民活動・行財政活動の中の「情報発信・広聴活動の推進」に関連してデジタル化、自治体 DX といった部分がどのように組み込まれてくるのか。ここに書いていないからどうこうということではなく、考え方があるのかお聞きします。
<p>安藤政策推進係長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーについては、他の分野に入れるのではなく、特出した方がいいのか一度庁内で検討してみたいと思います。 ・自治体 DX については、(5)の行政運営のところで目出しができたかと考えています。
<p>B氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 No. 1 の基本理念の文言について、「持続可能な島」という表現が暗い印象を受けるので、もう少し検討をお願いしたいです。できれば「豊かな」、「未来に伸びる宝島」など夢のある文言にさせていただきたいです。
<p>安藤政策推進係長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10年後を目指す基本理念なので、できるだけ明るく、市民の皆様が将来にワクワクできるようなフレーズを選びたいと思っています。SDG s を意識した表現にしているのですが、庁内で再度検討したいと思っています。
<p>審議会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「持続可能な」という表現に関連してご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。
<p>A氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の市町村の総合計画でも SDG s を意識して組み立てているものがありますし、テレビ等でも「今週は SDG s 週間」といった発信が増えてきているので、「持続可能な」という表現は堂々と使っていただきたいと考えます。
<p>C氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に取り組んでいるものなので、「持続可能な」という表現も使って良いと思います。 ・総合計画の中に、SDG s に対する佐渡市の目標を入れていただきたい

	<p>と思います。現状と将来の数値目標を別建てで入れていただきたいです。貧困化率など数字として掴みにくいものもありますが、佐渡市としてどうしていくのか、なるべく数値化していただきたい。</p>
<p>審議会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一般的な日本語としての「持続可能な」という言い方と、SDGsのいう「持続可能な」があります。今のご意見はSDGsに関連付けた方がいいのではという意味だと思いますので、ご検討をお願いします。
<p>D氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料No.1の将来像について、「笑顔と長寿の明るい島」というと、お年を召した方にだけライトが当たっている印象を持つかなと思うので、子どもからお年寄りまですべての人が生き生き輝けるようにというような文章になるといいと思いました。
<p>安藤政策推進係長</p>	<ul style="list-style-type: none"> この将来像は市民憲章から引っ張ってきたフレーズです。書きぶりについてはまた検討したいと思います。
<p>審議会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 将来像は、こういう佐渡市にするという意味ですか。
<p>安藤政策推進係長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本理念に基づいて、10年間でこういう佐渡市にしたいという将来像を意味しています。
<p>審議会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> この後、具体的な実施計画案が出てくるわけですが、3年サイクルで具体的なものを進めていくと10年後には佐渡市がこの将来像の姿になるということですか。
<p>安藤政策推進係長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想には市民の皆様と私達が目指すべき姿を記載しております。それがより具体的になったものが基本計画です。実施計画については基本計画と紐付けられた事業をしっかりと整理して、その事業がうまくいっているか年度毎に検証して進めていくという形で作りこみたいという思いです。
<p>B氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施策の大綱(3)の教育・文化の内容についてです。まだ未完成ですが、昨年度、社会教育委員会議の方で佐渡市生涯学習推進計画というものを検討・策定しました。その中の文言で、基本目標に「芸術文化やスポーツ・レクリエーションを楽しむ佐渡島」を掲げています。できれば表現を合わせて、「スポーツの振興」を「スポーツ・レクリエーションの振興」としていただきたいです。資料No.2「施策の体系(案)」についても同様です。

<p>安藤政策推進係長 E氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幹事会や課内で検討させていただきます。 ・将来像について、10年かけて目指すというお話がありましたが、これは市民憲章なので、佐渡市が無くなるまで続くということでもよろしいでしょうか。5つの像に向かって10年毎の区切りで進めていくということ。10年やって終わりでは市民憲章たり得ないということになってしまうのではと思いました。
<p>安藤政策推進係長 F氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10年を過ぎたから将来像がなくなるということはないです。引き続き、将来像に向かって進むものと考えています。 ・全島で人口が減少していて、地域によっては祭りや行事が徐々に維持できなくなってきている現状にあります。文化は生活と切り離せないものだと思います。 ・地域の暮らしを継続していくための施策はどこに位置づけられるのでしょうか。教育文化の分野なのか、それとも生活の分野に位置づけられるのでしょうか。
<p>安藤政策推進係長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の大綱(1)の生活では、例えばゴミ排出の抑制など生活環境に係るものを指しています。祭りなどの文化については(3)教育・文化の中に文化振興や無形文化の保存活用として出てきます。また、人口減少の中で地域コミュニティを継続していくという内容になると、(5)の地域づくりに当てはまると考えています。
<p>審議会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局に確認です。この後いくつかの部会に分かれますが、部会の進め方はどのように想定していますか。 ・それぞれの部会で、施策の体系について、体系そのものを付け加えたい、体系の文言を変えたい、この施策はどの体系に入るのかといった具体的な話が出てきたときに、それを活かすのか、それともただ聞き置くということになりますか。
<p>安藤政策推進係長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の部会では、部会長・副部会長を選出していただいた後、基本計画策定の全体スケジュールについてご説明させていただく予定です。 ・審議会の中でなくとも、部会で施策の体系についてご意見が出るようであれば、持ち帰って検討させていただきたいと思います。
<p>A氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なことについて事務局にお尋ねします。 ・人口減少・少子高齢化対策について、どのような切り口で取り組んでいこうと考えていますか。元気で働ける人達が大勢いる社会で多

安藤政策推進係長	<p>少人口が減少してもやむを得ないと考えているのか、人口減少に少しでも歯止めをかける施策を打っていくのか、あるいはその両面を追っていくのでしょうか。各部会で施策を展開していく上でのバックボーンとしてお聞きしたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少対策としては、移住で外から呼んでくる施策を継続しながら、市民が健康で元気で生きられるような方向性を示す必要があると思います。
猪股課長	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少は佐渡に限ったことではありませんが、佐渡では特に進んでいるという部分があります。社会減が年間 300 人から 400 人程度ある中で、それを減らしていくために創業・起業で UI ターンができないかということで、働くところ・住むところに関する施策を考えています。また、子育て支援については、今年度「子どもが元気なたからじま事業」として新生児が誕生した家庭に対しお祝い金 10 万円を支給する事業を開始したほか、多子世帯への支援についても議会と議論をしています。加えて、市長が申しているとおおり、健康寿命日本一の取り組みも進めていきます。こういった人口減少対策の施策についても、総合計画の各分野に散りばめていくことになるかもしれませんが、推進していく必要があると考えています。
G 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・部会で基本計画の項目を検討する中で、複数の部会にまたがる項目が出てきたときに、どこかの部会で専門的に検討するのか、関連する部会で合同で考えていくのか、想定があればお聞かせください。
安藤政策推進係長	<ul style="list-style-type: none"> ・分野を横断する項目が出てくることについては、取り扱いについて庁内でも話をしています。各部会で素案を叩いて原案にした段階で状況をみたいと考えています。部会全体でやる必要があるのか、部会長・副部会長同士の意見交換で調整できるのか、そのときの進捗状況に合わせて対応させていただきたいと思います。
審議会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、議題をいったん閉めて、部会に分かれた中で具体的な案やお考えをお聞かせ願えればと思います。副会長ご意見はいかがでしょうか。
審議会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。各部会で検討したものを再度ご審議いただけるものと理解しています。 <p>(3) 佐渡市総合計画 審議会の部会構成について</p>

安藤政策推進係長	<ul style="list-style-type: none"> 資料 No. 6 をご覧ください。事務局の方で、皆様を各部会に振り分けさせていただきました。備考には施策体系(案)と同じものが記載されています。各部会で備考の内容についてご検討いただくことになります。部会に分かれたうへでご検討いただきたいと思いますが、会長いかがでしょうか。
審議会長	<ul style="list-style-type: none"> 審議会閉会后に資料 No. 6 の部会に分かれてご検討をいただくということで、お願いします。
B氏	<ul style="list-style-type: none"> 資料 No. 3 について意見があります。3 ページ目について、文章の書きぶりがあまり良くないと思います。点が多くなるようであれば箇条書きの方が良いです。また、他の自治体の例を引用している箇所がありますが、括弧書きでまとめる方が良いと思います。4 ページ目の画像左側の文章も長くて分かりにくいです。ここでも他の自治体の例が引用されていますが、3 ページと同様括弧書きでまとめてはいかがでしょうか。 他の部会に関する事で恐縮ですが、5) 産業については航空路・空港の整備拡張を考察に是非入れていただきたいと思います。
審議会長	<ul style="list-style-type: none"> 文章の書き方等について、事務局の方で配慮できればお願いします。
審議会長	<p>3 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> それでは、これをもちまして第2回佐渡市総合計画審議会を終了いたします。ありがとうございました。 この後、それぞれの部会に分かれて議題についてご検討をお願いします。 <p>以上</p>